

高齢者の状況と計画の基本理念

〔人口構成の推移〕

桂 川町の総人口は、平成16年から平成20年にかけて減少しており、平成16年の15,069人から4年間で、574人減っています。

人口の推移を年齢3区分別で見ると、「年少人口（0～14歳）」「生産年齢人口（15～64歳）」の減少が続く中、「高齢者人口（65歳以上）」は増加しており、平成16年から4年間で3,391人から1,111人増えていきます。特に、75歳以上の後期高齢者人口が大きく伸びており、高齢化率（総人口に占める高齢者人口の割合）も22・5%から24・2%に上昇しています。

また、昭和22年から昭和24年生まれ（第一次ベビーブームに生まれた、いわゆる団塊の世代）の年齢層が、他の年齢人口層に比べ、顕著に多く、この年齢層が高齢者（65歳以上）となる平成27年頃には、さらなる高齢化が進行するものと予測されます。

<年齢3区分別人口構成の推移>

	実績 ←					→ 予測		単位：人
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成23年	平成26年	
総人口	15,069	14,968	14,786	14,614	14,495	13,899	13,421	
年少人口 (0～14歳)	1,922	1,897	1,855	1,797	1,786	1,706	1,613	
生産年齢人口 (15～64歳)	9,756	9,639	9,476	9,342	9,207	8,523	7,954	
高齢者人口 (65歳以上)	3,391	3,432	3,455	3,475	3,502	3,670	3,854	
前期高齢者 (65～74歳)	1,683	1,693	1,680	1,660	1,641	1,757	1,925	
後期高齢者 (75歳以上)	1,708	1,739	1,775	1,815	1,861	1,913	1,929	

資料：住民基本台帳（各年9月末現在）

※平成23・26年（推計値）は、平成16～20年の住民基本台帳をもとに「コーホート変化率法」を用いて算出

〔高齢者世帯の増加〕

桂 川町の一般世帯総数は平成20年では6,014世帯となっており、そのうち65歳以上の高齢者のいる世帯は2,552世帯となっています。

そして、65歳以上の高齢者のいる世帯は、平成16年から平成20年までの4年間で約120世帯増加しており、なかでもひとり暮らしの世帯の増加が顕著となっています。

〔計画の基本理念〕

このような超高齢社会において、いきいきと生活し、支援や介護が必要になっても住み慣れた地域で、心のふれあいや支え合いのなかで安心して生活できるような社会を築いていくことが大切です。

そのため、次の基本理念を掲げ、計画の推進を図ります。



<桂川町高齢者福祉計画の基本理念>

ともに支え合い 安心して いきいきと 暮らせるまち
“健康で活動的な 100歳をめざして”